

編集後記

時代を読み解くキーワード「動詞」シリーズインタビューの第3弾のテーマは「挑む」。

低迷が続いていた早稲田大学ラグビー部を王者に復活させた前監督・清宮克幸氏に、「挑む」ことの大切さを伺いました。自分の信じる理想を実現するために、あるいは今は亡き仲間のために、ラグビーのみならず、多方面にわたって奔走されておられる同氏。目標に向かって挑み続ける微塵のブレも感じられないその強く熱い心に、多くの仲間や選手が共鳴するのだと感じました。

熊本県湯前町下村婦人会代表の山北幸さんは、半世紀も前にやればできるの信念で、農村の割ぼう着のお母さんたちの力を合わせ、地域のために活動されてきました。安全でごまかしがなく、なにより美味しい漬物は、全国の人たちに愛され、今では熊本を代表するブランドにまで成長し、数多くの賞を受賞しています。地元の方に「先生」と慕われる山北さんは、93歳の今も現役。次なる新商品のアイデアを練っておられました。(AU)

お札に関するあれこれは、日本銀行のホームページ上で、他にもたくさんご紹介しています。燃えて灰になってしまったお札はどうしたらよいのか、お札の肖像などのデザインは誰が決めるのかなどなど、一度ご覧頂くと、興味の幅が広がって、自然と知識が身に付くはず。あらゆる情報がインターネットで得られる時代、リニューアルした「知るぽると」と合わせて、是非情報を探しに来てください。(NT)

本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用下さい。

(<http://www.boj.or.jp/type/pub/nichigin.htm>)

本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解については、日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)をご覧ください。

にちぎん 2006年 秋号
編集・発行人 湯本崇雄
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 図書印刷株式会社
©日本銀行情報サービス局 禁無断転載

特別展示
「日本橋の風景 明治期
にちぎんの建築記録写真から」
を開催中

貨幣博物館では、標題の特別展示を開

催中です。日

本銀行は一八

九六明治二十

九年に現在の

日本橋本石町

に新築移転し

ました。建築

中の日本銀行

本館写真の紹

介などを通じ

て、明治・大

正期の日本橋

や当時の貨幣

をご紹介します。



基礎工事中の日本銀行 1891(明治24)年撮影

【開催期間】二〇〇六年十二月三日(日)まで

休館日は 月曜日、祝日(ただし、土・日と重なる場合は開館)。十一月四日(土)は、設備点検のため、臨時休館させていただきます。

【開館時間】九時三十分～十六時三十分
入館は十六時まで

【場所】貨幣博物館

東京都中央区日本橋本石町一三一

【お問い合わせ先】

〇三三三七 三〇三七

「第2回 日銀グランプリ
」キャンペーンからの提言」
論文募集

日本銀行では、大学生の皆さんを主な対象とした金融経済分野の小論文・プレゼンテーションのコンテスト「第2回日銀グランプリ」キャンペーンからの提言

「への参加を募集しています。『日本の金融力』を高めるために3つの視点から」をテーマとし、視点1)3(後掲ホームページ参照)のいずれかを選んだ上で、題名を付け、日本語でA4横書き(三三三三三三三三)・5枚以内(図表等は除く)の小論文としてまとめ、3人1組でご応募ください。応募締め切りは十月十日(火)必着です。詳しい応募要領は、本行ホームページ(www.boj.or.jp/type/release/zuijinew/grand0606a.htm)をご覧ください。



「次世代RTGS
プロジェクト通信」の発刊

次世代RTGS(Real-Time Gross Settlement)は、わが国の大口資金決済

全体の安全性、効率性の一段の向上を

狙いとして、本年二月にスタートした

日銀ネット当預系の新プロジェクトの

総称です。同プロジェクトには、金融

機関や民間決済システム運営主体など、

多くの関係者のご理解とご協力が不可欠ですが、日本銀行では、関係者の

方々の取り組みを支援する一つの工夫

として、標題通信を発刊することと

しました。同通信では、関係者のシス

テム対応や運用イメージの形成に役立つ

情報をお伝えして参ります。詳細は本

行ホームページ(http://www.boj.or.jp/theme/pays_selbi/pays/s/bojnetindex.htm)の「次世代RTGS」をご覧ください。